

第三次十日町市子ども読書活動推進計画（案）

（令和8年度～12年度）



令和8年●月
十日町市教育委員会

目 次

第1章 「第三次十日町市子ども読書活動推進計画」の策定にあたって	
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の期間	1
3 計画の対象と取組機関	1
4 発達段階ごとの重点目標	2
5 計画策定と推進体制	2
第2章 「第二次十日町市子ども読書活動推進計画」期間における状況	
1 発達段階ごとの主な取組の「成果」と「課題」	
(1) 乳児期（0歳期）	3
(2) 幼児期（1歳～就学前）	3
(3) 学童期（小学校就学期）	4
(4) 青年前期（中学校就学期）	5
第3章 発達段階ごとの「目標」と「具体的な取組」	
1 乳児期（0歳期）	6
2 幼児期（1歳～就学前）	8
3 学童期（小学校就学期）	11
4 青年前期（中学校就学期）	15
第4章 障がいのある子どもの読書推進活動	19

資料編

第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定に関するアンケート結果
第三次十日町市子ども読書活動推進計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果
子どもの読書活動の推進に関する法律
第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定の経過
第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱
第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員名簿

発達段階ごとの凡例

本計画中、それぞれの年齢期における各主体による「具体的な取組」は以下のようないわゆるマークをつけています。

継続	…これまでに行われている施策・事業・活動で今後も継続して取り組むもの
拡充	…これまでに行われている施策・事業・活動で、質・量を拡充していくもの
新規	…本計画を策定する議論の中で、新たに取り組むことになったもの

なお、各主体による「具体的な取組」には家庭における取組についても言及していますが、家庭における取組は各家庭の自主性に委ねられており、**継続**・**拡充**・**新規**のマークをつけるのは相応しくないため省いています

第1章 「第三次十日町市子ども読書活動推進計画」の策定にあたって

1 計画策定の趣旨

十日町市では、平成13年に制定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成28年3月に「十日町市子ども読書活動推進計画」(第一次)を策定しました。この計画によって、関係機関の全市的な連携の強化をはかり、子どもの発達段階ごとに切れ目なく円滑に実施されるように取り組みを進めました。さらに、令和3年3月に策定した第二次計画では、その取り組みを発展させることができました。

この間、GIGAスクール構想^{※1}による学校のICT環境の整備、スマートフォンやタブレット端末等の普及により子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しました。令和5年3月に制定された国の第五次「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」では、それが子どもの読書活動にも影響を与えていた可能性が示唆されています。

読書バリアフリーにおいても、音声読み上げ対応の電子書籍、デイジー(DAISY)図書^{※2}、オーディオブック^{※3}、テキストデータなどの「視覚障害者等が利用しやすい電子書籍等」(以下「アクセシブルな電子書籍等」という。)が普及してきています。

これらの状況を踏まえ、「第三次十日町市子ども読書活動推進計画(以下、本計画という)」では、第一次計画および第二次計画の基本的な考えを継承するとともに、これから時代を生きる子どもたちが豊かな読書体験を得られるよう、子どもに関わる人や機関が連携・協力し、十日町市のすべての子どもたちが本に親しみ、読書習慣を身に付けることを目指して策定するものです。

2 計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

3 計画の対象と取組機関

本計画の対象となる子どもは、市としての施策を直接反映できる中学生までとします。読書活動の推進に取り組む機関・団体などは、家庭、保育園・認定こども園、小・中学校(特別支援学校の小学部・中学部を含む)、市、市教育委員会、情報館(図書館)及び分室、子どもの読書活動に関わる市民団体です。

※1 1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的として国が提唱したもの

※2 「Digital Accessible Information System」の略。文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル録音図書

※3 書籍等の文章を読み上げ又は口演し、必要に応じて効果音及びBGM等を付与することにより、利用者が耳で聴くことを通じて情報を得られる形式の電子音声コンテンツ

4 発達段階ごとの重点目標

乳児期（0歳期）

絵本や読み聞かせに対する保護者の意識を高めていきます。

幼児期（1歳～就学前）

保護者が絵本や読み聞かせの意義を理解し、家庭においても本に親しむことができるよう働きかけます。

学童期（小学校就学期）

保護者との連携を深め、児童がより本を身近に感じられる活動を推進します。

青年前期（中学校就学期）

図書委員会の活動を充実させ、学校全体の読書活動を活性化します。

5 計画策定と推進体制

本計画は、子どもの読書活動推進に関わる機関・団体の職員などからなる「第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員会」が策定にあたりました。計画策定に向けては、子どもたちの読書活動の実態や取り巻く環境を把握するため、アンケートを行ったほか、パブリックコメント^{※4}も実施しました。

本計画の進捗管理については、「十日町市子ども読書活動推進会議^{※5}」において、その取組状況を確認し、本計画の取組項目が実行されるように促していきます。

※4 計画等の素案について市民に公表し、寄せられた意見を考慮して計画を決定していくとともに、それに対する市の考え方を公表する制度

※5 子どもの読書活動推進に関わる機関・団体の職員などで構成され、「十日町市子ども読書活動推進計画」について、その取り組み状況などを確認し、計画が順調に進むように啓発・促進に関わる

第2章 「第二次十日町市子ども読書活動推進計画」期間における状況

1 発達段階ごとの主な取組の「成果」と「課題」

(1) 乳児期（0歳期）

赤ちゃんが保護者と言葉を交わし、楽しい時間をすごせるよう、ブックスタート事業や乳児期を対象とした読み聞かせなどに継続して取り組んできました。

10か月児身体測定の機会を利用し、継続して行ってきたブックスタート事業では、保護者のアンケートから、配付された絵本が84.7%の家庭で活用され、さらに76.8%の人が「配付された絵本が本に興味を持つきっかけになった」と回答しており、「本を読んだり新しい本を知ったりするきっかけになった」「子どもが小さい頃からの絵本の読み聞かせの習慣化が就学後の国語好きにつながった」といった声もありました。ブックスタート事業と併せて、情報館（図書館）（以下、情報館という）が保護者に絵本の紹介リーフレットを配付したり、ボランティア団体が読み聞かせに協力したりと、読書活動の推進に取り組む機関や団体が連携・協力して支援を行ってきました。

この時期の子どもは、言語や文字に対する認識能力も未発達なことから、読み聞かせの必要性をあまり感じない保護者も少なくなく、継続して家庭において絵本の読み聞かせを習慣づける働きかけが必要です。

(2) 幼児期（1歳～就学前）

幼児期の子どもは、周りの大人から絵本などを読んでもらうことで、言葉を豊かにし、絵本や物語の世界を楽しめるようになります。この時期の読書活動の推進は、園を中心に関係する機関が連携・協力し、取り組みを進めてきました。

多くの園では、家庭における読み聞かせの支援にも取り組み、本の貸し出しを行っています。そのような取り組みもあり、1か月に家庭内で読んだ本の冊数は前回調査よりも1.8冊増加し、不読率も減少しました。また、「父親」が読み聞かせをする家庭が、前回調査より6.9ポイント増加し、父親の育児参加が更に進んでいる様子もうかがえます。一方で、月に1日以上、親子で本に親しむ家庭は前回調査よりも8.1ポイント減少し67.4%でした。また、子どものために本を「買ったり、借りたりしたことはない」、「仕事や家事などで時間がなく」本を読んであげていないと回答した家庭もあり、家庭により温度差があることもアンケートから明らかになりました。

引き続き、家庭での子どもの読書環境を充実させるため、保護者への働きかけの強化や園を中心とした関係機関のさらなる連携が求められます。

(3) 学童期（小学校就学期）

読書の幅の広がりが見えてくる学童期においては、小学校を中心に子どもの興味や関心などを捉え、読書意欲を高める取り組みを進めてきました。「朝読書※6」や「読書週間」の実施など、それぞれの学校で時期や期間を工夫して読書活動の推進に取り組みました。

こうした取り組みにより、小学校5年生のアンケート結果では、不読率は全国平均（9.6%）より4.7ポイント低い4.9%でした。平均読書冊数も全国よりも高い結果（十日町市：16.8冊、全国12.1冊）となりました。

学校図書館（図書室）（以下、学校図書館という）の整備状況は、学校によって差はありますが、平均蔵書数や年間平均図書購入費は全国平均※7よりも低い結果となりました。これは、学校のクラス数が年々減少していることが要因の1つです。学校図書館の授業以外の利用頻度については、小学校5年生の36%が「あまり利用しない」、「まったく利用しない」と回答し、前回調査よりも高い結果となっています。利用しにくい理由としては前回調査同様、「古い本が多く、借りたい本がない」が多く、次いで「本が置かれている場所や本の並び方がわかりづらいから」という結果でした。この結果から蔵書の入替えがうまく進んでいないことがうかがえ、学校図書館の環境整備は引き続き重要課題です。

一方で、学校図書館を充実させる取り組みの一つとして、教育委員会では「図書委員会サミット※8」を継続実施し、参加した図書委員は、情報の共有と意見交換を行い、自校の活動に活かしています。

また、「家読」は学校を中心に取り組みが進められ、小学校2年生の家庭では、約7割が月に1回以上「家読」を行うようになりました。引き続き「家読」の推進を家庭と連携して行い、関係する機関が支援していくことが求められます。

※6 「朝の読書活動」の略。学校で朝のホームルームや授業の始まる前の10分間、読みたい本をよむこと

※7 全国SLA研究調査部「2025年度学校図書館調査報告」より

※8 市内小・中学校の図書委員が集まり、情報の共有や意見交換を行う

(4) 青年前期（中学校就学期）

中学校就学期は、生徒によって読書量に大きな差がでてくる時期でもあります。多くの中学校では、「朝読書」など一斉読書の取り組みを実施しています。生徒がおすすめの本を紹介する「推し本紹介」や学級文庫の充実などで読書への意識を高めている学校もありました。

図書委員会の活性化に向けて教育委員会と子ども読書活動コーディネーターがスタートさせた「図書委員会サミット」は、小・中学校の図書委員の情報共有と意見交換の場となり、自校での取り組みに活かされています。同じく、教育委員会などが始めたさらに「図書館担当者研修会」では、学校図書館担当職員の意見交換や研修の機会となっています。

このように、各校が読書活動推進に取り組み、その成果も一定程度得られているようでした。

しかしながら、中学校2年生を対象に行ったアンケートでは、不読率^{※9}は小学校5年生の4.9%に対し13.1%と2.7倍近く増加した一方、1か月の平均読書冊数は全国平均の3.9冊に比べ、12.3冊と大幅に増加しました。今回の調査では参考書や漫画なども対象としたことによる影響もありますが、中学生は何らかで活字には触れている状況が分かりました。

学校図書館の授業以外の利用頻度については、「あまり利用しない」、「まったく利用しない」と回答した中学校2年生の生徒が小学校5年生の児童より32.1ポイントも高く、前回調査同様、学校図書館からはなれてしまっていることがうかがえる結果となりました。利用しにくい理由は、小学校と同様に「古い本が多く、借りたい本がない」という回答が多い状況です。蔵書の入替えがうまく進んでいないことがうかがえ、小学校同様、学校図書館の環境整備は引き続き重要課題です。

家庭内での「家読」の取り組みにおいては「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせると約7割にのぼり家庭内の時間の使い方では、スマホやタブレット、ゲーム機などを使用する時間が増加していることが分かりました。

今後も、読書への関心を高めるために、友人同士で本の紹介をしあったり、図書委員会の活動などをとおしたりして、さらなる読書活動の推進が求められます。

※9 1か月間に本を1冊も読まなかった人の割合

第3章 発達段階ごとの「目標」と「具体的な取組」

1 乳児期（0歳期）

第三次計画における重点目標

絵本や読み聞かせに対する保護者の意識を高めていきます

取組主体

*家庭 *子育て支援課 *情報館（図書館）及び分室 *市民団体

施策と具体的な取組

►施策1 出産を迎える時期の保護者に働きかけ、家庭内で読み聞かせができるように支援します

具体的な取組

■家庭

- ・ ブックスタート事業で贈られた絵本などを活用して、乳児期から積極的に親子で絵本を楽しみ、子どもが本に興味・関心を持つきっかけづくりができるることを望みます。

■情報館（図書館）及び分室

- ・ これから出産を迎える家庭に向けても、出産前教室などで絵本や読み聞かせの重要性について伝えていきます。 継続
- ・ 乳児も楽しめる絵本を充実させるとともに、保護者が子どもに初めて読んであげる絵本を選ぶ際に参考となる資料の収集・作成の充実を図ります。 拡充

■市民団体

- ・ 読み聞かせボランティアのグループを中心に、情報館や公民館で行なうおはなし会やブックスタート事業への協力をとおして乳児期の子どもにも本にふれる機会を提供するよう努めます。 継続

►施策2 ブックスタート事業を充実させます

具体的な取組

■子育て支援課

- ・ ブックスタート事業を今後も継続して行い、保護者と子どもが絵本にふれる機会を創り出します。今後も効果が上がるよう実施方法や配付する絵本の種類についても改善していきます。 継続

■情報館（図書館）及び分室

- ・ ブックスタート事業に協力・連携し、乳児段階から絵本に親しめるようにしていきます。絵本の大切さを伝えるリーフレット等の配付や保護者が絵本の意義に気づくような働きかけを行い、情報館の利用者カード作成も促していきます。 継続

►施策3 利用しやすい図書館づくりに努めます

具体的な取組

■情報館（図書館）及び分室

- ・ 保護者が子どもと一緒に気兼ねなく情報館を利用できるように毎週土曜日午前中の「めごタイム※10」を継続し、さらに通年親子で利用しやすい環境の整備を目指します。拡充
- ・ 絵本や紙芝居などの多様な児童書が閲覧できる電子図書館を導入することで、来館にかかる負担を軽減し、家庭で気軽に読書に親しめる環境づくりを目指します。 新規

※10 赤ちゃんとその保護者が、図書館で気兼ねなく過ごすことができるよう、曜日や時間を決めて来館を呼びかけるもの

2 幼児期（1歳～就学前）

第三次計画における重点目標

保護者が絵本や読み聞かせの意義を理解し、家庭においても本に親しむことができるよう働きかけます。

取組主体

* 家庭 * 子育て支援課 * 保育園及び認定こども園 * 教育委員会
* 情報館（図書館）及び分室 * 市民団体

施策と具体的な取組

►施策1 保護者へ絵本や読み聞かせの重要性を発信します

具体的な取組

■保育園及び認定こども園

- 園から保護者への「おたより」などで絵本の楽しさや良さ、読み聞かせの重要性を発信するよう努めます。 継続

■情報館

- 子ども読書活動推進コーディネーターや情報館職員、外部講師が園や公民館などの社会教育施設を訪問して、保護者に絵本の読み聞かせを体験してもらい、絵本の必要性を理解してもらうための講話を実施します。 拡充

■教育委員会

- 公民館などの社会教育施設で開催される子育て・家庭教育関係の講座プログラムに、絵本の読み聞かせの重要性について学ぶ機会を設けます。 継続

►施策2 子どもが家庭内でも本に親しめるように支援します

具体的な取組

■家庭

- 情報館や分室、書店などに親子で足を運び、子どもの本や読書に対する関心を高めることを望みます。
- 園が貸し出す絵本、あるいは情報館や分室で借りた絵本などを活用し、家族みんなで絵本に親しむ時間を設けることを望みます。

■保育園及び認定こども園

- 家庭内で保護者と子どもが絵本を介してふれあい、楽しめるように、園がおすすめする絵本などを園児や保護者に積極的に貸し出し、家庭内の読書活動を支援するよう努めます。 継続

■情報館（図書館）及び分室

- ・ 絵本をはじめ幼児向けや親子で楽しめる図書を計画的に収集し、またそれらの図書を保護者が選ぶ際の手がかりとなる資料を作ります。 継続
- ・ 読み聞かせの市民団体と連携して幼児向けのおはなし会を定期的に開催し、親子で絵本を楽しむ機会をつくります。さらに、幼児向けの定期的なおはなし会に加え、子ども向けのイベントも積極的に行い、おはなし会やイベントをとおして親子で絵本を楽しむ機会をつくり、また、その周知方法や開催場所について改善していきます。 拡充
- ・ 絵本や紙芝居などの多様な児童書が閲覧できる電子図書館を導入することで、来館にかかる負担を軽減し、家庭で気軽に読書に親しめる環境づくりを目指します。 新規

■市民団体

- ・ 情報館や公民館、児童センター（めごらんど）などを会場におはなし会を開催し、親子で絵本を楽しむ機会をつくるよう努めます。 継続

➢施策3 保育園・認定こども園への支援を強化します

具体的な取組

■子育て支援課

- ・ 園の運営を支援し、絵本等の蔵書が充実するよう働きかけます。 継続

■情報館（図書館）及び分室

- ・ 情報館の蔵書から貸出文庫を小規模保育園等に設置※11し、定期的に入れ替えることによって、園の蔵書では不足する図書を補完します。 継続
- ・ 園からの求めに応じ、情報館から遠い立地にある園や小規模の園を中心に出張貸出を定期的に行い、家庭や保育園等の蔵書では不足する図書を補完します。 継続
- ・ 園からの求めに応じ、読み聞かせボランティアを派遣して定期的に読み聞かせの機会を提供します。 継続
- ・ 園から情報館へ来館した際の読み聞かせやおすすめ絵本の紹介プログラムを作成し、園のニーズに応えることで、園児が楽しめる環境をつくります。 新規

※11 小規模保育園等や放課後児童クラブを対象に120冊のセット図書を貸し出し、約2か月ごとに入替えを実施

➢施策4 園において子どもの読書環境の充実を図ります

具体的な取組

■保育園及び認定こども園

- 保育・教育活動の中で絵本の読み聞かせを積極的に行い、さらに年齢に合った絵本を各クラスに用意し、子どもたちが本の楽しさを感じる機会をつくることに努めます。
[繼続]
- 幼児期から情報館や分室に親しむために、園の活動の中で、情報館や身近にある分室を訪れる機会をつくるよう努めます。
[繼続]



出張貸出（えほんの日）の様子

3 学童期（小学校就学期）

第三次計画における重点目標

保護者との連携を深め、児童がより本を身近に感じられる活動を推進します

取組主体

*家 庭 *教育委員会 *小学校 *情報館（図書館）及び分室 *市民団体

施策と具体的な取組

►施策1 保護者との連携を深め、「うちどく（家読）」の推進など 子どもが家庭内でも本に親しめるように支援します

具体的な取組

■家 庭

- ・ 幼児期に引き続き、情報館やその分室、書店などに親子で足を運び、子どもの本や読書に対する関心を高めることを望みます。
- ・ 子どもと家族で本を読んで、本を読んで感じたことなどを家庭内で話し合う「家読」に取り組むことを望みます。

■教育委員会

- ・ 教育委員会と十日町市青少年育成市民会議、市P T A連合会などで推進している「はぐくみのまちづくり運動」の中で「家読」の有効性を発信し、家庭内での読書を促します。

■小学校

- ・ すでに取り組みを行っている校区をモデルに、家庭と協力しながら「家読」を推進します。また、週に1回以上は学校図書館で図書を借りるように促します。 拡充

■情報館（図書館）及び分室

- ・ 小学生向けの児童書を計画的に収集し、充実させていきます。自分自身で情報館に行ける小学生は校区が限定されるため、情報館だけではなく地区公民館や支所に設置されている10分室の児童書も充実させます。 継続
- ・ 子ども読書活動推進コーディネーターや外部講師から学校を訪問してもらい、保護者を対象に読書についての講話や本の紹介をしてもらう事業を実施するなど、読書の楽しさ、効用等も伝えていきます。 拡充
- ・ 多様な子どもたちが利用しやすい電子図書館を導入することで、来館にかかる負担を軽減し、家庭内で書籍に親しむ機会の創出に努めます。 新規

■市民団体

- ・十日町市青少年育成市民会議を中心に青少年の健全育成に取り組む団体は、子どもの成長にとっての読書の重要性をふまえ、情報館と協力して家庭における「家読」や子どもの読書活動についての啓発活動を行います。 継続

►施策2 学校図書館の充実を図り、読書環境の整備を進めます

具体的な取組

■教育委員会

- ・学校図書館の環境改善・利用向上のために学校図書館担当職員の意見交換・研修の場を設けます。 継続
- ・コミュニティ・スクールと連携した図書ボランティアの組織化と合わせ、学校司書配置についても検討します。 拡充
- ・G I G Aスクール構想等の進展やデジタル田園都市国家構想を踏まえ、学校図書館のDX(デジタルトランスフォーメーション)化を進めていきます。 新規

■小学校

- ・学校図書館の充実のために、図書委員会の活性化に努めます。教育委員会、情報館と連携・協働しながら「図書委員会サミット」の充実を図り、小・中各学校の図書委員会の活動について情報の共有や意見を交換し、研鑽するよう努めます。さらに、図書委員会を中心に、読書活動を推進するよう努めます。 拡充
- ・小学生が求めるニーズを把握し、漫画も含めて子どもの視点に立った図書を充実させます。 新規

■情報館（図書館）及び分室

- ・情報館の蔵書から貸出文庫を小規模小学校や小学校に開設している放課後児童クラブ等に設置し、定期的に入れ替えることによって、学校図書館の蔵書では不足する図書を補完します。 継続
- ・学校からの求めに応じ、情報館から遠い立地にある小学校や小規模小学校を中心に出張貸出を定期的に行い、家庭や学校図書館の蔵書では不足する図書を補完します。並行して、県立図書館の「小規模図書館等セット図書長期一括貸出^{※12}」などを活用した貸出文庫を小学校に設置していきます。 拡充
- ・学校図書館の改善にあたっては、学校の求めに応じ、資料の選定・除籍や配架などについて助言をしていきます。学校が相談をしやすくするために、基本的なメニューを作成し、各学校に配付します。また、「十日町情報館利用ガイドブック^{※13}」の活用を促し、学校図書館の活性化を支援します。 拡充

※12 新潟県立図書館が、県内の小規模自治体に対し、テーマ別のセット図書を長期間一括して貸し出す事業

※13 小・中学校と情報館が連携し、児童・生徒が効果的に学習できるように情報館が作成したもの

►施策3 学校で読書への関心を高める取り組みを充実させます

具体的な取組

■教育委員会

- ・学校図書館の活性化のためには児童による図書委員会活動が鍵になります。図書委員会の活性化のために各学校の図書委員が集まって事例発表や意見交換等を行う「図書委員会サミット」を情報館と連携し開催します。参加した図書委員には、学校で読書推進を進めるリーダーとして取り組んでもらえるように、読書推進リーダー証を与え、主体的に取り組めるように促します。 継続

■小学校

- ・朝読書等の活動を充実させ、日常の教育活動の中に読書をとり入れるよう努めます。継続
- ・各校で読書活動を重点的に推進する時期（週間、月間、旬間など）を設け、読書活動を推進するよう努めます。 継続
- ・上級生が下級生に、児童が園児に読み聞かせをする機会を設けるなどして、子どもが下の年齢の子どもに本を読んであげる活動を継続するよう努めます。 継続
- ・情報館や分室と連携し、その利用方法を学ぶために、教育課程の中で情報館や身近な分室を訪れる機会を計画的につくり、さらに、すべての児童が情報館の利用者カードを作成し、家庭においても定期的に利用するように促します。 継続

■情報館（図書館）及び分室

- ・小学生の本に対する関心と読書意欲を高めるために、学校の求めに応じて学校訪問ブックトーク^{※14}を実施します。 継続
- ・年度末に各学校から推薦された児童に「読書賞」を贈り、学校の読書活動推進に協力します。 継続
- ・夏休みに読んだ本をイラストで紹介してもらう「読書感想画」などの独自企画を小学校と連携して実施します。 新規
- ・子ども読書活動推進コーディネーターや外部講師から学校を訪問してもらい、読書についての講話や本の紹介をしてもらう「楽しい読書出前授業」などを小学校と連携して実施し、児童に読書の楽しさを伝えていきます。 継続
- ・学校から情報館へ来館した際の読み聞かせやおすすめ本の紹介プログラムを作成し、授業の一環として児童、学校職員が気軽に来館できるよう受け入れ態勢を整備します。新規

※14 図書館職員が学校を訪問し、テーマに沿っておすすめの本を紹介するもの

►施策4 地域ボランティアと連携し、読書活動推進のための取り組みをサポートします

具体的な取組

■小学校

- ・ 校内での読書活動の推進や学校図書館の活性化のために、学校運営協議会と連携して保護者や地域住民のボランティアを積極的に受け入れるよう努めます。 継続
- ・ コミュニティ・スクールと連携して、保護者や地域住民による図書ボランティアの組織づくりに努めます。 新規

■情報館

- ・ 子ども読書活動推進コーディネーターを中心に、ボランティアとして活動したい人と学校側のニーズを調整し、地域の人による図書ボランティアの組織づくりをサポートします 新規

■市民団体

- ・ 保護者や子どもの読書活動推進に関心がある市民を中心に、朝読書などをとおした校内の読書活動の推進や学校図書館の活性化へ協力するよう努めます。 継続



楽しい読書出前授業の様子

4 青年前期（中学校就学期）

第三次計画における重点目標

図書委員会の活動を充実させ、学校全体の読書活動を活性化します

取組主体

*家庭 *教育委員会 *中学校 *情報館（図書館）及び分室 *市民団体

施策と具体的な取組

►施策1 子どもが家庭内でも本に親しめるように支援します

具体的な取組

■家庭

- 子どもがテレビや電子メディアに長時間接することがないよう、そのデメリットを諭しながら、メディアに接する時間を自分で管理し、家庭内での読書の時間をつくることを望みます。

■教育委員会

- 教育委員会と十日町市青少年育成市民会議、市PTA連合会などで推進している「はぐくみのまちづくり運動」の中で「家読」の有効性を発信し、家庭内での読書を促します。

継続

■中学校

- 各学校や学校区にあるメディアコントロール週間に合わせて、家庭と協力しながら「家読」を推進します。

継続

■情報館

- 学校からの要請に応じ、子ども読書活動推進コーディネーターを学校に派遣して、読書についての講話や本の紹介をしてもらう事業を実施するなど、読書の楽しさと効用等も伝えていきます。

継続

- 多様な子どもたちが利用しやすい電子図書館やアプリなどの導入により、家庭内で書籍に親しむ機会の創出に努めます。

新規

■市民団体

- 十日町市青少年育成市民会議や市PTA連合会など青少年の健全育成に取り組む団体は、子どもの成長にとっての読書の重要性をふまえ、市教育委員会と連携して「家読」や子どもの読書活動の重要性についての啓発活動を行うよう努めます。

継続

- 中学生年代はスマートフォンなどの電子メディアとの接触時間が増えることに伴い、読書時間が減少している傾向があるので、そうしたメディアに長時間接触することのリスクについて啓発するよう努めます。

►施策2 学校図書館の充実を図り、読書環境の整備を進めます

具体的な取組

■教育委員会

- ・ 学校図書館の環境改善・利用向上のために学校図書館担当職員の意見交換・研修の場を設けます。 継続
- ・ コミュニティ・スクールと連携した図書ボランティアの組織化と合わせ、学校司書配置についても検討します。 拡充
- ・ G I G Aスクール構想等の進展やデジタル田園都市国家構想を踏まえ、学校図書館のDX(デジタルトランスフォーメーション)化を進めていきます。 新規

■中学校

- ・ 学校図書館の充実のために、図書委員会の活性化に努めます。教育委員会、情報館と連携・協働しながら「図書委員会サミット」の充実を図り、小・中各学校の図書委員会の活動について情報の共有や意見を交換し、研鑽に努めます。さらに、図書委員会を中心に、読書活動を推進していくよう努めます。 継続
- ・ 中学生が求めるニーズを把握し、漫画も含めて子どもの視点に立った図書を充実させます。 新規

■情報館（図書館）及び分室

- ・ ヤングアダルト（Y A）※15向けの図書を含め中学生向けの図書を計画的に収集し、充実させていきます。また、分室の図書も充実していきます。 継続
- ・ 中学校に貸出文庫を設置できるよう、計画的に図書を収集し、学校図書館の補完的な役割を目指します。並行して、新潟県立図書館の「小規模図書館等セット図書長期一括貸出」などを活用した貸出文庫を継続して中学校に設置していきます。 継続
- ・ 学校からの求めに応じ、情報館から遠い立地にある中学校を中心に出張貸出を定期的に行い、家庭や学校図書館の蔵書では不足する図書を補完します。 拡充
- ・ 学校図書館の改善にあたっては、学校の求めに応じ、資料の選定・除籍や配架などについて助言をしていきます。学校が相談をしやすくするために、基本的なメニューを作成し、各学校に配付します。また、「十日町情報館利用ガイドブック」の活用を促し、学校図書館の活性化を支援します。 拡充

※15 12歳～18歳の中学生・高校生のこと

►施策3 学校で読書への関心を高める取り組みを充実させます

具体的な取組

■教育委員会

学校図書館の活性化のためには生徒による図書委員会活動が鍵になります。このため、図書委員会活動の活性化のために各学校の図書委員が集まって事例発表や意見交換等を行う「図書委員会サミット」を情報館と連携し開催します。参加した図書委員には、学校で読書推進を進めるリーダーとして取り組んでもらえるように、読書推進リーダー証を与え、主体的な取り組みを促します。

【継続】

■中学校

- 朝読書等の活動を充実させ、日常の教育活動の中に読書をとり入れるよう努めます。
【継続】
- 各校で読書活動を重点的に推進する時期（週間、月間、旬間など）を設け、読書活動を推進していくよう努めます。
【継続】
- 中学生が小学生や園児など下の年齢の子どもに本を読んであげる授業を取り入れるなど、読み聞かせの効用と重要性を学ぶ機会をつくるよう努めます。
【継続】
- 情報館や分室と連携し、その利用方法を学ぶために、教育課程の中で情報館や身近な分室を訪れる機会を計画的につくり、さらに、すべての生徒が情報館の利用者カードを作成し、家庭においても定期的に利用することを促します。
【継続】

■情報館（図書館）及び分室

- 子どもの読書活動推進や学校図書館の活性化のために、子ども読書活動コーディネーターを引き続き配置します。さらに、活動状況を各学校にお知らせし、相互に取り組みを知る機会をつくります。
【継続】
- 子ども読書活動推進コーディネーターや情報館職員、外部講師を学校に派遣し、読書についての講話や本の紹介をしてもらう「楽しい読書出前授業」、「ブックトーク」等を実施することで、生徒に読書の楽しさを伝えていきます。この催しを各校で年に一度は実施できるように、働きかけます。
【拡充】
- 年度末に各学校から推薦された生徒に「読書賞」を贈り、学校の読書活動推進を支援します。
【継続】
- 学校から情報館へ来館した際の読み聞かせやおすすめ本の紹介プログラムを作成し、授業の一環として生徒、学校職員が気軽に来館できるよう受け入れ態勢を整備します。

【新規】

►施策4 地域ボランティアと連携し、読書活動推進のための取り組みをサポートします

具体的な取組

■中学校

- ・ 校内での読書活動の推進や学校図書館の活性化のために、保護者や地域住民のボランティア受け入れを検討していきます。 継続
- ・ コミュニティ・スクールと連携して、保護者や地域住民による図書ボランティアの組織づくりに努めます。 新規

■情報館

- ・ 子ども読書活動推進コーディネーターを中心に、ボランティアとして活動したい人と学校側のニーズを調整し、地域の人による図書ボランティアの組織づくりをサポートします。 拡充

第4章 障がいのある子どもの読書推進活動

情報館や特別支援学校などでは、障がいのある子どもであっても読書を気軽に楽しむことができるよう、「読書バリアフリー法」の趣旨を踏まえた取り組みを進める必要があります。

さらに、特別支援学校や特別支援学級などに在籍し、読書をすることが困難な子どもに対しては、その状況や発達段階に合わせた読書環境の整備・充実を図るとともに、情報館や分室、関係する人や機関が連携し、支援することが求められます。

■特別支援学校や特別支援学級では、以下の取組を進めます

- (1) 子どもの障がいの状況に応じ、その子に合った本を選び、その子に合った方法で読書活動を支援するよう努めます。
- (2) 子どもが興味や関心のある内容を中心に読み聞かせを行ったり、映像などを使って物語を紹介したりすることで、子どもがおはなしの世界を体験し、読書の楽しさを感じることができます。
- (3) 情報館と連携し、図書館利用のきっかけとなるように、情報館を訪れる機会をつくるよう努めます。

■情報館では、以下の取組を進めます

- (1) 布絵本^{※16}、大活字本^{※17}、L L ブック^{※18}など、ハンディキャップがあっても利用しやすい資料の購入を進めます。
- (2) マルチメディア DAISY（デイジー）^{※19}をはじめとした電子資料を充実させ、電子資料を誰でも楽しめるように再生機の活用を図ります。
- (3) 関係する機関に、資料や機器の貸し出しを積極的に行います。
- (4) 県と連携して電子図書館の導入を進め、アクセシブルな電子書籍等の充実を図ります。

※16 布やフェルトなどでできた、さわって楽しむことができる絵本

※17 通常よりも大きな活字で書かれ、行間や文字の種類についても工夫されている本

※18 文字を読む、内容を理解することが苦手な人でも、写真やイラスト、ピクトグラムなどを使って、やさしく読めるように工夫された本

※19 文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル録音図書

■ LLブック

やさしく・よみやすい本
LLブック

やさしくよめる工夫

※下の例は LL ブック「仕事に行ってきますシリーズ」のケースです。
表現方法や、内容の難易度は作品によって異なります。

写真などを使い、
内容を直截的に
表現しています。

2 は、ほこりを 背ちこんではいけません。
ドアで 作業者のほこりを 取ります。
うとどかない 背中は、
いっしょに はたらく人に 瞳ってもらいます。

でも、まだ 工場には 入れません。
エニシワーという 違い風で 日に見えない
ほこりを 取ります。
タッキーブルは、せいかつきが、
とても大切です。

3 おはよう おはよう おはよう
おはよう おはよう おはよう

分かち書きにする、
直接的な表現にするなど
文章を工夫し、ふりがなも振っています。

内容理解を助ける
絵記号（ピクトグラム）を使用しています。

出典：社会福祉法人埼玉福祉会ホームページ

(<https://www.saifuku.com/shop/llbook/product.html>)

■マルチメディア 音声と一緒に文字や画像が表示される国際規格のデジタル図書

DAISY

ももたろう - ChattyBookExpress Ver 2.03b

ファイル(F) 再生操作(P) 表示(V) ルビ(R) 設定(S) ヘルプ(H)

ももたろう

1
2
3
4
5
6
作者紹介
製作データ

かえ
「おばあさんや、 いま帰ったぞ」

ゆうがた
夕方、 おじいさんが たきぎをせおって いえ
家にも

出典：公益財団法人伊藤忠記念財団ホームページ (<https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/ebook/waiwai/daisy.html>)

「ももたろう」 文：浜なつ子 絵：よこやまようへい 製作：伊藤忠記念財団

資料編

(アンケート集計結果)

第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定に関するアンケート結果

▽各回答の割合は、以下のように計算しています。

単一回答の質問：回答数／全有効回答数（全回答の割合を合計すると 100%。ただし、未回答がある場合や、各解答の割合は小数点以下第 2 位を四捨五入しているので、合計が 100% ちょうどにならない質問があります）

複数回答の質問：回答数／全回答者数（全回答の割合を合計しても 100% になりません）

▽表中の「R 2」は、第二次計画策定時の結果、「R 7」は、第三次計画策定時の結果です。

—保護者（園児・小2・中2）—

【回答方法】

一つの質問につき回答選択肢の当てはまるもの一つを選択してください。ただし、「複数回答可」となっている質問は複数の回答を選択いただいて結構です。回答選択肢の「その他」を選んだ場合は、可能な範囲で具体的な内容を書いてください。一部、本の冊数などをお聞きする質問があります。その質問は数字を記入してください。

※お子さんが2人以上いる方は、その中でいちばん上のお子さんの年齢をお答えいただき、このアンケートの質問もそのお子さんを想定してお答えください。

▽調査対象 = 1,581 名（園児保護者 1,012 名、小2保護者 258 名、中2保護者 311 名）

▽回答者 = 408 名（園児保護者 276 名、小2保護者 92 名、中2保護者 40 名）

▽回答率 = 25.8%

※調査対象人数は令和7年4月1日時点のものです

■お子さんに関して

質問1 年度当初のあなたのお子さんの年齢または学年をお答えください。

回 答		
0歳児	12人	2.9%
1歳児	33人	8.1%
2歳児	46人	11.3%
3歳児	51人	12.5%
4歳児	62人	15.2%
5歳児	72人	17.6%
小学校2年生	82人	20.1%
中学校2年生	40人	9.8%

■読書そのものに関して

質問2 お子さんのために1か月に平均してどのくらい本を購入したり、借りたりしますか？

回答	園		小2		中2	
	R7	R2	R7	R2	R7	R2
5冊以上	27.2%	24.4%	28.3%	26.5%	7.5%	4.2%
2～4冊くらい	25.4%	28.9%	22.8%	30.9%	12.5%	9.9%
1冊程度	19.9%	15.4%	17.4%	15.7%	30.0%	15.5%
1冊未満（数か月に1冊程度）	26.8%	28.2%	27.2%	25.0%	30.0%	58.5%
購入したり、借りたりしたことない	0.7%	3.1%	4.3%	2.0%	20.0%	12.0%

質問3 お子さんのための本はどんな方法で入手していますか？（複数回答可）

回答	園		小2		中2	
	R7	R2	R7	R2	R7	R2
書店等の実店舗	57.2%	60.1%	47.8%	63.2%	80.0%	77.5%
インターネットやフリマサイト等	27.9%	21.4%	22.8%	19.6%	30.0%	29.6%
情報館（図書館）や分室（公民館）で借りる	54.3%	43.2%	66.3%	63.2%	50.0%	35.9%
園や学校から借りる	58.3%	52.4%	62.0%	76.5%	27.5%	23.2%
友人や知人から借りる	1.4%	0.7%	1.1%	1.5%	5.0%	1.4%
電子書籍で閲覧	0.7%	—	3.3%	—	0.0%	—
その他（ ）	2.9%	13.0%	1.1%	0.5%	0.0%	4.2%

その他 保育園で購入、親戚・友人からもらう（プレゼント）、おさがり、宅配サービスカタログ・カタログギフト、フリーマーケット（マルシェなど）

※ホントカ。での借用は「情報館（図書館）や分室（公民館）で借りる」に含む

質問4 紙の書籍と電子書籍ではどちらが読みやすい、読んであげやすいですか？

回答	園	小2	中2
紙の書籍	99.6%	100.0%	97.5%
電子書籍	0.4%	0.0%	2.5%

質問5 お子さんは読み聞かせや読書が好きですか？

回答	園	小2	中2
好き	61.6%	38.0%	30.0%
どちらかといえば好き	37.0%	48.9%	40.0%
どちらかといえば嫌い	1.1%	12.0%	25.0%
嫌い	0.4%	1.1%	5.0%

■家庭内での読書に関して

質問6 この1ヶ月間に、家庭でおおよそ何冊くらいの本をお子さんに読んであげたり、お子さんが自分で読んだりしましたか？（同じ本を複数回読んだ場合、1回を1冊としてください。1冊も読んでいない場合は、0と記入してください。）

	園		小2		中2	
	R7	R2	R7	R2	R7	R2
平均読書冊数（※）	17.6 冊	15.8 冊	7.5 冊	9.2 冊	3.6%	2.2 冊
不読率（1冊も読まなかった人の割合）	3.3%	4.0%	9.8%	8.3%	32.5%	40.1%

300 冊以上は異常値として算定から除外

質問7 質問6で0冊の方は、読んであげられなかった、読まなかった理由を教えてください。
(複数回答可)

回 答	園	小2	中2
自身が、読書が好きではない、興味がない	33.3%	0.0%	7.7%
自身の仕事、家事などで時間がない	55.6%	22.2%	15.4%
読み聞かせのやり方がわからない	0.0%	0.0%	0.0%
子どもに適した本がわからない	0.0%	11.1%	0.0%
子どもの部活、習いごとなどで時間がない	11.1%	0.0%	38.5%
子どもがテレビや動画を見る、スマホやタブレット、ゲーム機で遊ぶ方が好き	55.6%	22.2%	69.2%
子どもが外で遊ぶことや体を動かして遊ぶ方が好き	11.1%	0.0%	7.7%
子どもが、活字が苦手	0.0%	11.1%	23.1%

質問8 家庭で「うちどく（家読）」の取組みをしていますか？

※「うちどく（家読）」とは、本を通じて家族のコミュニケーションを深める取組みです。

回 答	園		小2		中2	
	R7	R2	R7	R2	R7	R2
週に4日以上している	25.7%	27.6%	6.5%	8.8%	0.0%	0.7%
週に2～3日くらいしている	15.6%	23.6%	14.1%	10.3%	5.0%	0.7%
週に1日くらいしている	14.9%	15.0%	9.8%	14.2%	10.0%	2.8%
月に1～2日くらいしている	11.2%	9.3%	35.9%	35.3%	17.5%	5.6%
あまりしていない	21.4%	15.5%	21.7%	25.5%	25.0%	49.3%
まったくしていない	11.2%	9.1%	12.0%	5.9%	42.5%	40.8%

■図書館等の利用に関して

質問9 お子さん名義の情報館（図書館）の利用者カードを作っていますか？

回答	園		小2		中2	
	R7	R2	R7	R2	R7	R2
すでに作っている	59.1%	34.1%	87.0%	63.2%	85.0%	72.5%
作っていないがいずれ作る予定である	29.0%	36.1%	5.4%	16.2%	2.5%	7.0%
今のところ作る予定はない	11.9%	29.7%	7.6%	20.6%	12.5%	20.4%

■ブックスタート事業に関して

※質問10～12は、園児の保護者のみ回答してください

質問10 10か月児身体測定で行われるブックスタート事業で配付される絵本は、お子さんが本当に興味を持つきっかけになりましたか？

回答	園		小2		中2	
	R7	R2	R2	H27	R2	H27
大いになった	33.0%	30.8%	—	—	—	—
まあまあなった	43.8%	44.5%	—	—	—	—
あまりならなかった	17.0%	14.4%	—	—	—	—
全くならなかった	6.2%	10.3%	—	—	—	—

質問11 ブックスタート事業で配付された絵本は、家庭の中で活用しましたか？

回答	園		小2		中2	
	R7	R2	R2	H27	R2	H27
大いに活用した	46.7%	40.4%	—	—	—	—
まあまあ活用した	38.0%	36.1%	—	—	—	—
あまり活用しなかった	9.4%	10.9%	—	—	—	—
まったく活用しなかった	5.8%	12.7%	—	—	—	—

質問14 お子さんに本を読んであげるのは、誰ですか？（複数回答可）

回答	園		小2		中2	
	R7	R2	R2	H27	R2	H27
母親	98.2%	97.6%	—	—	—	—
父親	71.7%	64.8%	—	—	—	—
祖母	27.5%	31.7%	—	—	—	—
祖父	8.3%	9.0%	—	—	—	—
兄・姉	17.0%	12.1%	—	—	—	—
その他	2.5%	4.0%	—	—	—	—

その他 叔母、伯父、親の友人、従姉妹、保育園

質問15 子どもの読書活動推進に関して、ご意見やご要望がありましたら、自由に考えをお書きください。（一部抜粋）

【園児保護者】

■情報館（公民館）に関すること：30件

- ・ 情報館に絵本を借りに行きたいが、子供がまだ小さいので騒いだり大きな声を出したりで周りに迷惑がかかるのではないかと心配で行けない。子どもが騒いでもいいように仕切られたスペースがあると親子で行きやすい。川西分室のこどもとしょかんが利用しやすく、よく利用しています。スペースが区切られていて親子で安心して利用できます。（子ども連れだと行きにくい9件）
- ・ 情報館の「季節のおすすめの絵本」コーナーでよく本を借りています。子どもの目につくようななかわいい紹介文や飾りがされていて、興味を引く。
- ・ 年齢や興味に合ったおすすめの本や読書リストをもっと紹介してもらえるとありがたい。
- ・ 子どもが本を読みたくなるようなイベントや取組が少ないと感じます。低月齢向けの読み聞かせはありますが、保育園・小学生向けの取組が少ないです。読書通帳の活用、ブックトーク、ブックカバーのバッグ作り、欲しい本のリストアンケートでランキング上位の本を購入など…もう少し工夫が欲しいです。

■ブックスタート事業に関すること（10件）

- ・ 1歳半健診、3歳半健診などでも1冊もらえると、さらなる読書や絵本の読み聞かせのきっかけに繋がると思います。
- ・ 子どもの出産前から本をよく読む方でしたが、子どもが産まれてブックスタートで本を頂いた時、子どもの出産を市全体で祝福してくれているように感じ、とても嬉しかったのを覚えています。
- ・ 検診でいただいた本は、ブックスタート事業だとは、知らずに受け取りました。特に説明もなかったと思います。あの本だけで、その後のフォローの取り組みも提案もなく、興味を持ったかという設問がある事に疑問です。

■保育園等に関すること（7件）

- ・ 保育園で情報館の本を貸し出ししていただけて、子供が喜んでいました。親と選ぶより楽しいみたいです。継続していただけると嬉しいです。
- ・ 保育園で毎日のように絵本を読み聞かせしてくれているからか、月末に持ち帰ってくる本は自分で読めるほど覚えてくるようになりました。
- ・ 保育園の送迎の際に本棚や絵本が置いてあると「これいいね」「読んでみようか」など、借りたくなると思います。

■意識に関すること（4件）

- ・ 保護者の意識を変えること。読書が今後の子どもの成長に与える効果を知らせる。
- ・ 共働き核家族では、毎日時間を作りじっくり本を読むことは難しい。保育園もそうだが、家庭の状況を考慮されず、本を読むことを強要されると辛いと感じる。

■その他要望等（8件）

- ・ 十日町市内に書店を増やしてほしい。
- ・ 図書カードを配布してほしい。
- ・ このアンケートを行うにあたり、第二次計画の成果はどのようなものだったのか知りたいところです。
- ・ 子どもの年齢にあった本を選ぶのが難しいので、年齢に合う本を紹介してほしい。

【小学校 2 年生保護者】

■情報館（公民館）に関するこ（9 件）

- ・ 情報館があることは子供の助けになっています。本を借りたり、そこで読んできたりと、本に興味を示しています。
- ・ 定期的な他分室の本の巡回は知っていますが、更に増やして欲しいのと、各分室の魅力や情報も発信してほしいです。
- ・ 子ども達が、借りたい本がネタ切れになりつつあるので、貸し出し履歴からおすすめの本が表示されるようなシステムが導入されたら素敵だなと思います。

■学校に関するこ（4 件）

- ・ 私は児童のみなさんに読書感想文を書かせることをやめた方がいいと思います。文章を書くことと、文章を読む行為は全く異なる性質です。書くことが苦手な人にとって、感想文を書くことの苦手意識が読書自体への苦手意識にも繋がり、読書そのものから遠ざかる児童もいただろうし、これからもいるでしょう。読書が好きになることが読書活動推進の目的なのであれば、自由に読んで楽しめることが大切であり、読書感想文は無くても問題はないと思います。感想文を書ける子は書けば良いですし、苦手な子は好きな場面や言葉を書き出す、感想を言葉で述べる・録音すると言った自由形式で良いと思います。
- ・ 本を借りてスタンプがたまる、表彰されるのを張り合いにしているので、今後も続けてほしい。ただ、学年が上がるとモチベーションとしては弱くなるようです。学校で「エコメディア運動」があると取り組むので、引き続き定期的に呼びかけてほしいです。

■意識に関するこ（5 件）

- ・ 子どもは本や図鑑を見たりしていますが、共働きで、帰宅時間も遅くなると読んでいる時間がない。読み聞かせが良いのは知っていますが、習慣化できない。
- ・ 子どもを読書する気にさせるのは大変なこともありますが、子どもと一緒に本を読める時間は貴重だと感じているので、家読活動続けて欲しいと感じています。
- ・ “本のある生活”で心が豊かになることを感じられる家庭が増えれば良いなと思いますので、まずは親へ向けた読書活動推進が優先かなと思います。

■その他要望等（2 件）

- ・ 大人は電子書籍が便利ですが、低学年の子供に長時間タブレットを使わせることは、視力の悪化が心配です。
- ・ 保育園では毎月絵本を買っていました。その時の方が今よりもたくさん本を見ていた気がします。

【中学校2年生保護者】

■学校に関すること（2件）

- ・ 学校図書館と公共図書館のさらに進んだ連携を希望します。子どもたちがよりたくさんの資料を手にし学びやすくするために、学校図書館の所蔵をデータ化し、情報館と同一のシステムで連動させ、情報館及び他校の蔵書も同時に検索出来るようにしてほしいです。
- ・ 中学生になると小学校と違って家読の日が決められていません。中学校でも家読の日を設けたり、夏休みの宿題以外でも読書感想文の提出があつたりしてもいいと思います。

■意識に関すること（4件）

- ・ マンガをたくさん読んでいます。難しい本は、学校での読書の時間にしか読みません。
- ・ 読み聞かせしたほうがよいのは分かっているが、疲れてしまいその時間を確保できません。

—小学校5年生・中学校2年生—

【回答方法】

一つの質問につき回答選択肢の当てはまるものを選択してください。ただし、「複数回答可」となっている質問は2つ以上の回答選択肢を選択いただいて構いません。回答選択肢の「その他」を選んだ場合は、可能な範囲で具体的な内容を書いてください。一部、本の冊数を聞く質問があります。その質問は数字を入力してください。

▽調査対象=663名（小学校5年生352名、中学校2年生311名）

▽回答者=509名（小学校5年生265名、中学校2年生244名）

▽回答率=76.8%（小学校5年生75.3%、中学校2年生78.5%）

※調査対象人数は令和7年4月1日時点のものです

■読書そのものについて

質問1 あなたはこの1ヶ月の間に、おおよそ何冊くらいの本を読みましたか？ 借りて読んだ本も入れてください。1冊も読まなかった人は、0と書いてください。

※R7は学習参考書、マンガ、雑誌、電子書籍を含む。

R2は学習参考書、マンガ、雑誌、電子書籍を含まない。

回答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
平均読書冊数	16.8冊	12.3冊	10.6冊	3.0冊
不読率	4.9%	13.1%	8.8%	16.1%

※不読率=1冊も読まなかった人の割合

質問2 質問1で0冊と回答した人だけ回答してください。本を読まなかった、読めなかった理由を教えてください。

回答	R7	
	小5	中2
読書が好きではない、興味がない	53.8%	59.4%
部活や習いごとなどで時間がない	23.1%	40.6%
自分に合った本がわからない	0.0%	31.3%
テレビや動画を見る、スマホやタブレット、ゲーム機で遊ぶ方が好き	7.7%	62.5%
外で遊ぶことや体を動かして遊ぶことが好き	23.1%	65.6%
字を読むことが苦手	38.5%	12.5%

質問3 あなたはこれまで本を読んで、次にあげるようなことがありましたか？（複数回答可）

回答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
勉強に役だった	27.2%	22.5%	23.7%	22.3%
今まで知らなかったことがわかった	59.2%	49.2%	63.9%	51.3%
本を読んで感動することができた	31.3%	40.6%	29.2%	45.2%
現実とは別の世界を楽しむことができた	54.3%	57.4%	48.2%	53.3%
家族や友だちとの話題が増えた	24.2%	27.5%	24.8%	16.2%
気晴らしや勉強の息抜きになった	39.2%	43.4%	32.0%	34.2%

質問4 あなたは自分で読む本をどうやって選びますか？（複数回答可）

回答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
自分で本の中身を見て面白そうだと思ったら選ぶ	87.9%	73.4%	84.8%	77.1%
家族にすすめられた本を選ぶ	15.5%	13.1%	15.4%	11.9%
学校の先生にすすめられた本を選ぶ	4.9%	2.5%	3.6%	3.2%
図書館や公民館の職員にすすめられた本を選ぶ	3.0%	1.6%	4.1%	2.3%
本屋ですすめていた本を選ぶ	9.8%	12.3%	11.6%	19.7%
テレビなどで話題になっていた本を選ぶ	28.7%	48.0%	23.1%	23.8%
友達にすすめられた本を選ぶ	24.2%	27.9%	33.3%	21.4%
その他（ ）	19.2%	12.3%	18.5%	20.3%

その他 表紙（タイトルや絵など）をみて面白そうだと思ったら選ぶ ・好きなジャンルだから選ぶ ・アニメや映画などの原作だから選ぶ ・将来の役に立ちそうだから選ぶ ・適当に選ぶ …など

質問5 紙の書籍と電子書籍ではどちらが読みやすいですか

回答	R7	
	小5	中2
紙の書籍	80.8%	79.1%
電子書籍	19.2%	20.9%

質問6 読書は好きですか？

回答	R7	
	小5	中2
好き	35.8%	34.8%
どちらかといえば好き	41.5%	41.8%
どちらかといえば嫌い	15.1%	16.4%
嫌い	7.5%	7.0%

質問7 あなたは次のことをするのにどのくらい時間を使いますか？ 学校がある日の時間の使い方について、それぞれいちばんあてはまる番号1つに○をつけてください。

回答	学年	30分未満	30分以上	1時間以上	2時間以上	3時間以上	4時間以上	5時間以上
家で勉強をする	小5	24.9%	49.1%	22.3%	2.3%	0.8%	0.4%	0.4%
	中2	23.8%	42.2%	29.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
本・雑誌・新聞・電子書籍を読む	小5	52.5%	24.9%	14.0%	5.7%	1.5%	0.8%	0.8%
	中2	53.3%	26.6%	15.2%	2.5%	1.6%	0.8%	0.0%
テレビ、スマホ、タブレット、ゲーム機	小5	3.4%	7.2%	35.1%	24.9%	13.2%	5.3%	10.9%
	中2	1.2%	3.7%	28.7%	38.5%	14.8%	6.1%	7.0%
塾・習い事・スポーツ 少年団などに行く	小5	27.2%	9.4%	25.3%	26.7%	11.3%	0.8%	0.4%
	中2	41.8%	8.6%	21.3%	21.3%	6.1%	0.4%	0.4%
体を動かして遊ぶ、運動する	小5	33.6%	30.6%	19.2%	10.2%	3.8%	1.5%	1.1%
	中2	28.7%	27.5%	24.6%	13.5%	4.9%	0.4%	0.4%

■図書館等の利用について

質問8 あなたは本を借りたり、読んだりするために情報館（図書館）や分室（公民館）をどのくらい利用しますか？

回答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
週に何回も利用する	2.6%	0.8%	2.8%	0.0%
週に1回くらい利用する	10.9%	5.7%	14.9%	2.6%
月に1～2回くらい利用する	29.1%	16.8%	26.5%	17.7%
あまり利用しない（年に1～2回くらい）	36.2%	46.7%	34.5%	46.7%
まったく利用しない	21.1%	29.9%	21.3%	33.0%

■学校図書館（図書室）の利用について

質問9 あなたは授業以外で本を読んだり、借りたりするために学校図書館（図書室）をどのくらい利用しますか？

回答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
週に何回も利用する	8.3%	2.0%	9.9%	2.9%
週に1回くらい利用する	23.8%	11.1%	25.4%	8.7%
月に1～2回くらい利用する	32.1%	18.9%	34.3%	15.4%
あまり利用しない（年に1～2回くらい）	23.4%	34.0%	20.2%	39.4%
まったく利用しない	12.5%	34.0%	10.2%	33.6%

質問10 あなたの学校の学校図書館（図書室）は利用しやすいですか？

回 答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
とても利用しやすい	45.7%	32.4%	31.9%	32.1%
まあまあ利用しやすい	46.0%	54.5%	44.3%	45.9%
やや利用しにくい	6.4%	10.7%	20.8%	17.1%
とても利用しにくい	1.9%	2.5%	3.0%	5.0%

質問11 質問9で「やや利用しにくい」「とても利用しにくい」と答えた人は、その理由は何ですか？（複数回答可）

回 答	R7		R2	
	小5	中2	小5	中2
古い本が多く、借りたい本がないから	45.5%	40.6%	54.7%	56.0%
本の量が少なく、借りたい本がないから	18.2%	18.8%	32.6%	17.3%
本が置かれている場所や本の並び方がわかりづらいから	36.4%	31.3%	47.7%	18.7%
部屋の雰囲気が暗いから	27.3%	28.1%	17.4%	30.7%
使いづらい場所に図書室があるから	9.1%	34.4%	16.3%	33.3%
借りる手続きをしている人がいないことが多いから	18.2%	15.6%	12.8%	14.7%
図書室が決まった時間しか開いていないから	9.1%	15.6%	8.1%	18.7%
本のことに詳しい先生やボランティアの方がいないから	4.5%	6.3%	5.8%	8.0%
本を借りたり、返したりする方法がわかりにくいから	4.5%	25.0%	10.5%	33.3%
その他	22.7%	9.4%	27.9%	32.0%

その他 ・借りに行かない ・興味がない ・好きな本は家にある …など

質問11 本や読書のことで意見や要望があったら、自由に書いてください。(一部抜粋)

【小学生】

■リクエスト（作品名、ジャンルなど）：68件

- ・ 漫画を入れてほしい：13件
- ・ （作品名・シリーズ名）を入れてほしい：31件
- ・ 宇宙の詳しい本がほしい

■情報館について：2件

- ・ 新しい本がほしい
- ・ 可愛い系の本がほしい

■学校図書館について：8件

- ・ 情報館のようなバーコードがほしい
- ・ シリーズごとに並べて選びやすくしてほしい

■その他要望・意見・感想等：20件

- ・ 本を読むことが楽しい
- ・ おすすめの本を教えてほしい

【中学生】

■リクエスト（作品名、ジャンルなど）：7件

- ・ 小説を入れてほしい：3件
- ・ 都市伝説やホラー系の本

■情報館について：1件

- ・ 夏休みに大量に借りていました

■学校図書館について：2件

- ・ 映像を使ったお話などを入れてほしい
- ・ 漫画を増やせば利用者が増えると思う

■その他要望・意見・感想等：6件

- ・ 障害がメインの漫画や小説は、自分の将来に役立ったり、人との関わりを素敵な表現で表しているため、もっと世界に広げてもいいと思う。
- ・ 本が高い。

—保育園・認定こども園等—

【回答方法】

一つの質問につき回答選択肢の当てはまるもの一つを選択してください。ただし、「複数回答可」となっている質問は複数の回答選択肢選択していただいて構いません。回答選択肢の「その他」を選んだ場合は、可能な範囲で具体的な内容を書いてください。一部、本の冊数などをお聞きする質問があります。その質問は数字を入力してください。

▽施設数=22園（市立 4園、私立 18園）

▽回答率=36.4%

■読書活動の推進に関して

質問1 子ども読書活動の推進に関して、力を入れていることはなんですか？（複数回答可）

回 答	回答率	
	R7	R2
絵本の読み聞かせ	100.0%	95.5%
絵本の貸出し	75.0%	72.7%
保護者への働きかけ（読み聞かせや読書の重要性など）	75.0%	27.3%
その他（ ）	12.5%	27.3%

その他 ・子どもが自由に絵本を手に取って、見ることができるように環境設定している

質問2 質問1で記入した取組みの成果をどの程度感じていますか？

回 答	回答率	
	R7	R2
とても感じている	0.0%	27.3%
まあまあ感じている	100.0%	68.2%
あまり感じていない	0.0%	4.5%
まったく感じていない	0.0%	0.0%

質問3 園として絵本の読み聞かせや読書の重要性を保護者にどのような方法で訴えていますか？（複数回答可）

回 答	回答率	
	R7	R2
おたより	100.0%	86.4%
保護者向けの講習会などを開催	25.0%	0.0%
読書活動を推進するためのイベント・行事などで訴える	25.0%	9.1%
訴えていない	0.0%	13.6%
その他	0.0%	13.6%

質問4 園から見て、園児の保護者の読書に対する意識・態度は、大まかにどのような傾向だと感じていますか？（複数回答可）

回答	回答率	
	R7	R2
園内での読み聞かせや読書活動に関わってくれる積極的な保護者もいる	25.0%	18.2%
家庭内はもちろん、子どもを連れて情報館（図書館）などを利用する保護者もかなりいる	50.0%	45.5%
家庭内で積極的に読み聞かせなどしている保護者が多い	75.0%	54.5%
子どもの読書には関心のない保護者が多い	12.5%	27.3%
わからない	25.0%	9.1%

■園の読書環境に関して

質問5 園での絵本の読み聞かせや読書活動に、保護者や市民のボランティアが関わっていますか？

回答	回答率	
	R7	R2
関わっている	50.0%	22.7%
関わっていない	50.0%	77.3%

質問6 質問5で「関わっている」と答えた園は、どのようなことで関わっていますか？（複数回答可）

回答	回答率	
	R7	R2
絵本の読み聞かせ	100.0%	80.0%
読書環境の整備	0.0%	0.0%
その他	0.0%	20.0%

※その他 ・絵本・素話・パネルシアター

質問7 園児は読み聞かせの時間が好きですか？（全体的な印象で構いません）

回答	回答率	
	R7	R2
好き	87.5%	—
どちらかといえば好き	12.5%	—
どちらかといえば嫌い	0.0%	—
嫌い	0.0%	—

質問8 園には絵本や子ども向けの本（紙芝居を含む）が何冊ありますか？（正確にわからない場合、概数で結構です）

	R 7	R 2
平均蔵書数	894 冊	1,248 冊

質問9 年間の図書購入費はいくらですか？（正確にわからない場合、概算で結構です）

	R 7	R 2
平均図書購入費	28,125 円	57,391 円

質問10 園での読書環境について悩んでいることや課題はありますか？（複数回答可）

回 答	回答率	
	R 7	R 2
購入する図書や廃棄する図書の選び方がわからない	37.5%	—
図書の量が少ない、図書購入費が少ない	12.5%	—
読書環境の改善に取り組む時間、手間がない	75.0%	—
園児が読み聞かせや図書に触れ合う機会が少ない	0.0%	—
図書に詳しい職員やボランティアがいない	0.0%	—
その他	12.5%	—

その他 ・静かにゆったりと本を読める環境がない

■他の取組み団体について

質問11 市（子育て支援課・情報館）、学校、市民団体の取組みについて、ご意見・ご要望がありましたらお書きください。（一部抜粋）

- ・園として情報館に行くことが難しいですが、保育園に設置している情報館の絵本を定期的に入れ替えてもらっている為、助かります。
- ・外部からの読み聞かせのボランティアをお願いしたり、情報館の「えほんのひ」の取り組みを利用している。とても有効な取り組みだと思う。本来はもっと多く読み聞かせの外部講師をお願いしたいが予算がない。「えほんのひ」ももっと回数を増やしたいが上限がある（年2回まで）何か工夫できることがあったら、知らせてほしい。
- ・情報館見学やえほんの日など、子どもたちが楽しめる企画があり、大変うれしいです。これからも情報館さんと繋がりを持ち、子どもたちと本の関わりを大切にしたいです。いつもありがとうございます。
- ・ボランティアなども毎年、依頼していて子どもたちに読み聞かせしていただけるので、大変助かっています

—市立学校（小学校・中学校・特別支援学校）—

【回答方法】

一つの質問につき回答選択肢の当てはまるもの一つを選択してください。ただし、「複数回答可」となっている質問は複数の回答選択肢を選択いただいて構いません。回答選択肢の「その他」を選んだ場合は、可能な範囲で具体的な内容を書いてください。一部、本の冊数などをお聞きする質問があります。その質問は数字を入力してください。

▽施設数=27校（小学校 16校、中学校 10校、特別支援学校 1校）

▽回答率=59.3%（小学校 75.0%、中学校 30.0%、特別支援学校 100.0%）

※特別支援学校は、小学校として集計

■読書活動の推進に関して

質問1 学校として子ども読書活動の推進に関して、力を入れていることはなんですか？（複数回答可）

回答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
学校図書館の環境整備	76.9%	100.0%	66.7%	81.8%
図書費の確保	15.4%	0.0%	27.8%	18.2%
学校図書館以外に学級文庫などの設置（情報館の貸出文庫を利用したものも含む）	61.5%	66.7%	66.7%	54.5%
読書週間・月間などの設定	61.5%	0.0%	66.7%	27.3%
朝読書など一斉に読書に取り組む時間を設定	69.2%	66.7%	77.8%	54.5%
読み聞かせ・ブックトーク・出前授業などを取り入れること	76.9%	33.3%	77.8%	18.2%
「うちどく（家読）」の推進	69.2%	0.0%	77.8%	27.3%
その他（）	0.0%	0.0%	5.6%	9.1%

その他（R2） 小学校・週1回の一斉貸し出し

中学校・委員会活動

質問2 質問1で記入した取組みの成果をどの程度感じていますか？

回答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
とても感じている	15.4%	0.0%	44.4%	0.0%
まあまあ感じている	84.6%	66.7%	55.6%	100.0%
あまり感じていない	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
まったく感じていない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問3 学校として保護者に読書の重要性をどのような方法で訴えていますか？（複数回答可）

回 答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
おたより	53.8%	0.0%	72.2%	27.3%
保護者向けの講習会などを開催	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
読書活動を推進するためのイベント・行事などで訴える	38.5%	0.0%	22.2%	0.0%
訴えていない	15.4%	100.0%	16.7%	63.6%
その他	7.7%	0.0%	11.1%	9.1%

その他 ・PTA 総会等の保護者が集まる機会に「家読」の説明をし、保護者のサインやコメント等の協力を訴えた。

質問4 自校の児童・生徒は読書が好きですか？（全体の印象で構いません）

回 答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
好き	7.7%	33.3%	5.9%	0.0%
どちらかといえば好き	84.6%	66.7%	94.1%	72.7%
どちらかといえば嫌い	7.7%	0.0%	0.0%	27.3%
嫌い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問5 質問4について、判断のもととなるものがありましたらお書きください。

■好き・どちらかといえば好き

- ・図書室を使用する時間を週1時間確保している。その際、子どもが読みたい本を意欲的に探している様子が見られる。
- ・読み聞かせ等の活動への関心、態度の様子や貸し出し冊数
- ・「読書の時間」を設けているが、集中して読んでいる。
- ・自習等で図書室に行くのは好き 本を持ち歩く生徒や寸暇を惜しんで読書をしている生徒がかなりいる
- ・昼休みは見ている子がいる。
- ・授業の合間に本を読んでいる生徒がいる。
- ・児童アンケートで、「本を読むのが好き」が肯定的評価100%である。
- ・全員に好きな本がある。
- ・読書の時間に集中して本を読んでいる。
- ・朝読書の様子
- ・昼休みに図書室を利用したり、進んで本を借りたりする子がいるから。
- ・図書室の利用が多いから
- ・図書室にどんな本があるのか、知っている子どもが多く、新しい本が入るとすぐに気づく子が多い。

- ・絵本バックに本を入れ、いつでも隙間時間に読めるようにしているため、出して読む姿も見られる。
- ・各学年で時間を設定して図書室利用をしていることと、机の脇に本袋を下げいつでも本が読める状態にしていることで、児童が隙間時間に読書している姿を目にする。
- ・定期的に来ていただいている読み聞かせボランティア(低学年)の際、静かに集中して聞いている。
- ・授業の隙間時間を中心に読書を呼びかけることが多いが、短時間でも集中して本に親しむ姿が見られる。
- ・図書館の改装に伴い、休み時間に図書館を利用する児童が増えた。また、委員会児童を中心となって、さらなる利用者増を目指してアイディアを出し合っている。
- ・休み時間に本を読む子が多い

■どちらかといえば嫌い・嫌い

- ・図書室利用が少ない

■情報館（図書館）や分室との連携に関して

質問6 児童・生徒や保護者に情報館（図書館）や分室の利用をどのような方法で促していますか？（複数回答可）

回答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
授業の中	53.8%	0.0%	27.8%	27.3%
おたより	30.8%	33.3%	55.6%	9.1%
その他（ ）	30.8%	33.3%	27.8%	18.2%
促していない	7.7%	33.3%	22.2%	45.5%

その他

- ・情報館たより、リーフレットの掲示、イベントの紹介
- ・いただいたパンフレットを誰でも手に取れるよう図書室前に置いたり、出前読書で紹介いただいた本が情報館にあることを伝えたりしている。

質問7 学校として情報館（図書館）にはどのようなことを期待しますか？（複数回答可）

回 答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
学校図書館には置いていないような図書を置いてほしい	30.8%	33.3%	72.2%	36.4%
ブックトークなどで学校に頻繁に出張してほしい	61.5%	0.0%	38.9%	9.1%
団体貸出や貸出文庫などで学校に図書を提供してほしい	46.2%	0.0%	44.4%	45.5%
学校図書館の選書や廃棄についてアドバイスをしてほしい	84.6%	66.7%	50.0%	72.7%
書架の配置や図書の配架についてアドバイスをしてほしい	53.8%	100.0%	38.9%	45.5%
その他（ ）	15.4%	0.0%	11.1%	18.2%

その他 ・学校ネットワークと OPAC とを繋ぎ、授業の中で必要な資料図書をその場で検索したり、貸出手続きをえたりするなど実務性・利便性が向上するようになると理想的だと思います。

■学校図書館について

質問8 学校図書館の活動や校内での読書活動に、保護者や市民のボランティアが関わっていますか？

回 答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
関わっている	61.5%	0.0%	88.9%	36.4%
関わっていない	38.5%	100.0%	11.1%	63.6%

質問9 質問8で「関わっている」と答えた学校は、どのようなことで関わっていますか？（複数回答可）

回 答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
読み聞かせ	100.0%	—	100.0%	100.0%
学校図書館の整備	50.0%	—	25.0%	0.0%
その他（ ）	12.5%	—	0.0%	0.0%

その他 ・掲示物の作成、掲示

質問10 質問8で「関わっている」と答えた学校は、校内での読書活動の推進に読み聞かせボランティアが関わっていることで、子どもたちに変化はありましたか？

回 答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
あった	100.0%	—	—	—
ない	0.0%	—	—	—

質問11 質問10で「あった」と答えた学校のみ回答してください。具体的にどのような変化がありましたか？

- ・ 地域の方による読み聞かせの時間は、子どもたちが静かに聞いていたり、どんな本を紹介してもらえるのか楽しみにしている
- ・ 本への関心が広がっているように感じる
- ・ 読み聞かせを楽しみにしている
- ・ 保護者が関わることで、関心を持って聞いている。
- ・ 朝読書の時間を楽しみにしている子どもが増えた。
- ・ 読書への意識が高まった
- ・ 朝読書の時間はもちろんのこと、毎月の昼の放送でのお話の時間生放送、年に1回開催される読み聞かせと音楽の素敵な時間「ふきのとうのスペシャル授業」を、とても楽しみにしている姿が見られる。
- ・ 読み聞かせの時間を楽しみにし、静かに聞くことができる子が増えた。
- ・ 図書室に来る子供が多い

質問12 学校図書館の蔵書冊数は何冊ですか？（正確にわからない場合、概数で結構です）

平均蔵書数	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
十日町市	7,387 冊	4,833 冊	10,213 冊	6,171 冊
全 国*	10,023 冊	11,773 冊	10,335 冊	11,579 冊

※ 全国平均は（公社）全国学校図書館協議会の調査によるもの

質問13 年間の図書購入費はいくらですか？（正確にわからない場合、概算で結構です）

平均図書購入費	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
十日町市	174,846 円	183,333 円	225,844 円	289,727 円
全 国*	507,000 円	608,000 円	526,000 円	627,000 円

※ 全国平均は（公社）全国学校図書館協議会の調査による令和6年度決算のもの

質問 14 学校図書館の開放状況を教えてください。

回答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
常時開放している	76.9%	100.0%	77.8%	18.2%
昼休みと放課後に開放している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
放課後のみ開放している	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
昼休みのみ開放している	23.1%	0.0%	16.7%	63.6%
開放していない	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%
その他 ()	0.0%	0.0%	5.6%	9.1%

質問 15 児童・生徒は、授業以外にどの程度学校図書館を利用していますか？

回答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
週に 1 回程度	30.8%	33.3%	55.6%	11.1%
2 週間に 1 回程度	23.1%	0.0%	44.4%	11.1%
月に 1 回程度	38.5%	33.3%	0.0%	44.4%
年に 数回程度	0.0%	33.3%	0.0%	22.2%
利用していない	7.7%	0.0%	0.0%	11.1%

質問 16 授業の中で学校図書館を利用していますか？

回答	R7		R2	
	小学校	中学校	小学校	中学校
週に 1 回程度	23.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2 週間に 1 回程度	7.7%	0.0%	27.8%	0.0%
月に 1 回程度	30.8%	33.3%	50.0%	50.0%
年に 数回程度	38.5%	66.7%	22.2%	50.0%
利用していない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問17 学校図書館に関することで悩んでいることや課題などはありますか？（複数回答可）

回 答	R7	
	小学校	中学校
購入する図書や廃棄する図書の選び方がわからない	38.5%	0.0%
図書の量が少ない、図書購入費が少ない	23.1%	0.0%
書架の配置が使いづらい	23.1%	33.3%
雰囲気が暗い	38.5%	66.7%
場所が悪い（教室から遠い、動線上にない）	15.4%	0.0%
学校図書館に詳しい職員やボランティアがいない	23.1%	66.7%
貸出・返却の手続きがわかりづらい	15.4%	0.0%
その他（ ）	15.4%	0.0%

その他 他の業務を抱えながらで指導に係る時間や委員会児童への指導等の時間を十分確保することができない。

ふれあいの丘には図書館が無いので図書スペースがあると有難い。

■他の取組み団体について

質問18 市（教育委員会・情報館）、保育園・認定こども園、市民団体の取組みなどについて、ご意見・要望がありましたらお書きください。（一部抜粋）

- ・ 各校への学校司書の配置の呼び掛けを継続して行ってほしい。
- ・ 学校の実際のところは、読む習慣が生まれづらい児童、生徒への指導の困難さが大きいと思うので、困難さの大きい子どもや保護者への読書活動啓発の新たな方策を市の関係機関で検討実施していくことが望まれると考える。
- ・ 「学校図書館の事務作業やアドバイスなどをしてくれる方」を市で募集し、市内の学校に派遣するようなシステムを作れないでしょうか。年に数回でも、このような専門家からおいでいただけすると大変ありがたかったです。十日町市でもぜひ同じような仕組みを作っていただきたいです。
- ・ ぜひ、小中学校に学校司書を配置していただきたいです。教職員だけでは学校図書館の運営まで十分に行うことができません。
- ・ 全学校の図書室へ、冷房の設置を要望します。

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるように、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施さ

れるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十二条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定の経過

年月日		活動内容
令和7年	5月22日	定例教育委員会において「第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱の制定」と「第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員の委嘱・任命」を議決
	6月1日	6月1日付で「第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員」を委嘱・任命
	9月25日	<p>第1回策定委員会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長の選出 ・第二次計画の進捗状況と今後の策定スケジュールについて ・新潟県子ども読書活動推進計画の内容について ・計画策定に向けて必要なデータや調査等について ・計画策定に関わるアンケート調査の対象・範囲について ・計画策定に関わるアンケート調査の内容について ・アンケートの実施方法とスケジュールについて
	11～12月	<p>「第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定に関わるアンケート」を以下の対象者に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の保育園・認定こども園の保護者全員 ・市内の小学校2年生の保護者全員 ・市内の中学校2年生の保護者全員 ・市内の小学校5年生全員 ・市内の中学校2年生全員 ・市内の保育園・認定こども園・小学校・中学校・特別支援学校 (園や校で1通回答) <p>アンケート回収後、集計・分析</p>
	12月4日	<p>第2回策定委員会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの集計結果について ・計画策定に向けて考えられる施策・事業・取組について
令和8年	1月23日	<p>第3回策定委員会（大雪のため書面決議に変更）を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画素案について協議 ・パブリックコメント実施について周知 <p>定例教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画素案について報告 ・パブリックコメント実施について報告

	2月12日	十日町市議会総務文教常任委員会 ・計画素案について報告 ・パブリックコメント実施について報告
	2月13日 ～28日	パブリックコメントの実施
	3月13日 (予定)	第4回策定委員会を開催 ・計画案について最終協議
	3月25日 (予定)	教育委員会に策定報告

第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱 (設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年12月12日法律第154号)第9条第2項の規定に基づき、第三次十日町市子ども読書活動推進計画(以下「計画」という。)を策定するため、第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項の研究及び協議を行い、計画を策定するものとする。

- (1) 十日町市の子どもの読書活動推進に関する基本的な方向に関すること。
- (2) 学校が実施すべき読書活動に関すること。
- (3) 社会教育施設が実施すべき読書活動に関すること。
- (4) 保育園及び認定こども園が実施すべき読書活動に関すること。
- (5) 市民が実施すべき読書活動に関すること。
- (6) 十日町市及び十日町市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が実施すべき子どもの読書活動に関する施策に関すること。
- (7) その他子どもの読書活動推進に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育において子どもの読書活動に関わる者
- (2) 社会教育において子どもの読書活動に関わる者
- (3) 保育園又は幼稚園において子どもの読書活動に関わる者
- (4) 地域住民として子どもの健全育成や読書活動に関わる者
- (5) 十日町市及び教育委員会において子どもの読書活動に関する施策に関わる者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱・任命の日から令和8年3月31日までとする。

2 委員が前条第2項の規定に該当しなくなった場合は、委員の職を辞したものとみなし、補欠委員を委嘱する。

3 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選によって定める。

3 副委員長は、委員長が指名し、委員の同意を得て定める。

4 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聞くことができる

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局教育文化部情報館において処理する。

(委任)

第8条 この告示に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、公布の日から施行する。

(この告示の失効)

2 この告示は、令和8年3月31日限り、その効力を失う。

第三次十日町市子ども読書活動推進計画策定委員名簿

区分	氏名	所属職等	備考
第1号	まるやま 丸山 祐香	十日町市立上野小学校教諭	新任
	しんば 新保 かおり	十日町市立南中学校教諭	新任
第2号	にしの 西野 若菜	十日町情報館図書館サービス係長（司書）	再任
	ちほ 千保木美代子	読み聞かせの会「おはなしたまてばこ」代表	再任
第3号	やまたに 山谷 雪江	十日町市立きらきら西保育園副園長	新任
	まるやま 丸山 沙矢香	社会福祉法人森の保育園 認定こども園あおのもり保育教諭	新任
第4号	やなぎ 柳 貢	十日町市青少年育成市民会議会長	新任
	ねつ 根津 智彦	十日町市P T A連合会副会長	新任
	はやし 林 篤子	子ども読書活動推進コーディネーター	再任
	たかはし 高橋 しげ子	特定非営利活動法人らいぶフォーラム理事	再任
第5号	ふえだ 笛田 晃	十日町市市民福祉部子育て支援課保育園係副理事・係長（ブックスタート事業担当者）	再任
	とくい 徳井 洋介	十日町市教育委員会教育文化部学校教育課指導主事	新任

任期 令和7年6月1日 から 令和8年3月31日 まで